（様式１－１）

［請負者からの請求］

年　　月　　日

（発注者あて）

　　　　　　　　　　　殿

住所

請負者

氏名　　　　　　　　　　　　　　印

法人の場合は名称

及び代表者の氏名

工事請負契約約款第24条第６項の規定による契約金額の変更（請求）

年　月　日付けで契約締結した下記の工事については、賃金水準又は物価水準の変動により契約金額が不適当となったため、工事請負契約約款第24条第６項の規定により契約金額の変更を請求します。

記

１　工事件名

（契約番号）　　　　　 （　　　　　　 ）

２　契約金額　　　　　　　￥

３　契約日　　　　　　　　　　年　　月　　日

４　工期　　　　　　　　　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで

５　工事場所

６　希望基準日　　　　　　　　　年　　月　　日

７　変更請求概算額　　　　￥

８　概算変動前残工事金額　￥

（概算変動前残工事金額とは、契約金額から当該請求日における既済部分に相応する契約金額を控除した額）

※ 希望基準日は、この請求を提出する日から起算して14日以内とする。

※ 別紙「概算スライド額調書」（様式１－２）を添付する。

※ 区監督員と相談の上、出来高、残工事の既定額、単価の変動及び上昇額についての資料を添付する。

※ 変更請求概算額及び概算変動前残工事金額については、精査の結果によって、変更となることがある。

※ 工期又は工事内容の変更について先行指示があるが、契約変更が済んでいない場合には、その旨を確認するための資料を添付する。

（様式１－２）

概算スライド額調書

|  |  |
| --- | --- |
| 工事件名（契約番号） | （　　　　　　　　 ） |
| 契約金額 | 　　　　　　　　　　　　　　円（税込み） |
| 予定価格 | 　　　　　　　　　　　　　　円（税込み） |
| 落札率 | 　　　　　　　　　　　　．　 ％ |
| 契約日 | 年　　月　　日 |
| 工期 | 年　　月　　日から　　年　　月　　日まで |
| 希望基準日 | 　　　　年　　月　　日 |
| 出来高 | ．　 ％ |
| 出来高額（既済部分に相応する契約金額） | 円（税抜き） |
| 変動前残工事金額（Ｐ１） | 円（税抜き） |
| 変動後残工事金額（Ｐ２） | 円（税抜き） |

○スライド額（Ｓ）＝　　Ｐ２　　―　　Ｐ１　　― （　　Ｐ１ 　× １ ／ １００ ）

＝　　　　　　―　　　　　　― （ 　　　　　× １ ／ １００ ）

＝　　　　　　　　　　　　　―

　　　　　　　　　＝

Ｐ１ ： 変動前残工事金額

（契約金額から当該請求時の既済部分に相応する契約金額を控除した額）

Ｐ２ ： 変動後残工事金額

（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残工事金額に相応する額）

○スライド額 ＝ （Ｓ） × （１+ 消費税及び地方消費税の税率）

　（税込み）

※ 出来高、出来高額、変動前残工事金額及び変動後残工事金額については、概算とする。

ただし、精査の結果によっては、これらを変更することがある。

※ 落札率は、入札経過調書等を参考に、小数点以下１位まで記入する。

（様式３－２）

年　　月　　日

（発注者あて）

　　　　　　　　殿

住所

請負者

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

法人の場合は名称

及び代表者の氏名

承　諾　書

年　　月　　日付（文書番号）により協議があったスライド額については、下記のとおり承諾します。

記

１　工事件名

（契約番号）

２　変動前残工事金額（税抜き）　 ￥　　　　　　　　　　　．－

３　変動後残工事金額（税抜き） 　￥　　　　　　　　　　　．－

４　スライド額　　　　　　　　　 ￥　　　　　　　　　　　．－

（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　　￥　　　　　　　　　．－）